

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成21年11月5日(2009.11.5)

【公開番号】特開2008-76999(P2008-76999A)

【公開日】平成20年4月3日(2008.4.3)

【年通号数】公開・登録公報2008-013

【出願番号】特願2006-259405(P2006-259405)

【国際特許分類】

G 03 G 13/16 (2006.01)

【F I】

G 03 G 13/16

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月18日(2009.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ベルト本体と、

前記ベルト本体の軸方向における少なくとも片側縁部の内周面に沿って帯状に形成され、前記ベルト本体の軸方向内側に前記ベルト本体の周方向に沿って設けられた切り欠き部を有する蛇行防止部材と、

を備えることを特徴とする無端ベルト。

【請求項2】

前記蛇行防止部材が、前記ベルト本体の軸方向外側に配設される第1蛇行防止部材と、前記第1蛇行防止部材よりも前記ベルト本体の軸方向内側に前記第1蛇行防止部材と連続して設けられ、前記第1蛇行防止部材よりも厚みが薄い第2蛇行防止部材と、で構成されたことを特徴とする請求項1に記載の無端ベルト。

【請求項3】

前記蛇行防止部材が、前記ベルト本体の軸方向外側に配設される第1蛇行防止部材と、前記第1蛇行防止部材よりも前記ベルト本体の軸方向内側に前記第1蛇行防止部材と連続して設けられ、前記第1蛇行防止部材との連結部から前記ベルト本体の軸方向内側に向かって漸次厚みが薄くなる第2蛇行防止部材と、で構成されたことを特徴とする請求項1に記載の無端ベルト。

【請求項4】

像保持体と、該像保持体表面を帯電させる帯電手段と、前記像保持体表面に潜像を形成させる潜像形成手段と、形成された前記潜像をトナー像として現像する現像手段と、前記トナー像を記録媒体に転写させる転写手段と、前記トナー像を記録媒体に定着させる定着手段と、を有し、

ベルト本体と、前記ベルト本体の軸方向における少なくとも片側縁部の内周面に沿って帯状に形成され、前記ベルト本体の軸方向内側に前記ベルト本体の周方向に沿って設けられた切り欠き部を有する蛇行防止部材と、を備える無端ベルトを備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】

前記蛇行防止部材が、前記ベルト本体の軸方向外側に配設される第1蛇行防止部材と、前記第1蛇行防止部材よりも前記ベルト本体の軸方向内側に前記第1蛇行防止部材と連続

して設けられ、前記第1蛇行防止部材よりも厚みが薄い第2蛇行防止部材と、で構成されたことを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置。

【請求項6】

前記蛇行防止部材が、前記ベルト本体の軸方向外側に配設される第1蛇行防止部材と、前記第1蛇行防止部材よりも前記ベルト本体の軸方向内側に前記第1蛇行防止部材と連結して設けられ、前記第1蛇行防止部材との連結部から前記ベルト本体の軸方向内側に向かって漸次厚みが薄くなる第2蛇行防止部材と、で構成されたことを特徴とする請求項4に記載の画像形成装置。